

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	美術振興事業						担当部	教育委員会事務局		
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	文化振興課		
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	文化振興係		
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		20 文化・芸術						
		副目的									
	予算区分	款	10	項	5	目	5	大	3	中	1
	根拠法令・個別計画	小牧市文化振興ビジョン									
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	市民の美術への関心を高め、美術文化の振興を図る。									
	内容 (手段)	<p>○24年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民美術展(2,867千円) 市民からの作品を公募することにより市民の美術への関心を高め、美術文化の振興を図ることができた。10月28日から11月4日の会期で実施し、一般出品作品354点、賛助・委嘱作品58点を展示し、延べ5,223人の入場者があった。 また、美術展終了後、優秀作品の特別展示を市役所、各市民センター及び公民館で行い、地域での鑑賞の機会を提供した。職員は市民美術展常任・運営委員会の開催、事前PR、展示の設営、スケジュール管理を行った。 ・美術鑑賞講座(85千円) 名古屋造形大学と連携して2月2日から3月16日の土曜日に5回実施した。ワークショップを取り入れた参加型の講座を開催し32名が受講した。絵画のみならず美術として視野を広げて、美術鑑賞のポイントや楽しみ方を伝授し最終回はメナード美術館で行い、本物に触れることでより一層効果的な講座となった。職員は講師の手配・受講料の徴収・講義の運営補助を行った。 ・巡回ミュージアム 文化振興課所有のレプリカ絵画の巡回展示を6月4日から2月7日まで全中学校で実施し、身近なところで世界の名画に触れる機会を提供した。職員は、学校との日程調整・レプリカ絵画の運搬を行った。 ・美術鑑賞共催事業(1,000千円) メナード美術館と共催し、全戸配布される市広報にメナード美術館企画展の無料券及び割引券を掲載し、多くの市民に本物の名画を鑑賞する機会を提供した。所蔵企画展「サーカス・サーカス ようこそ！ 夢物語の世界へ」6月29日～9月2日、開館25周年記念特別企画展「舟越桂」9月15日～11月25日 来場者29,789人(招待券利用者1,424人、割引券利用者77人) ・市民ギャラリー企画展(995千円) 小牧南高校写真部作品展を8月19日から8月26日まで、ハンガリー展を11月7日から11月18日まで、写真で見る小牧の歴史を2月6日から2月17日まで、CAMo現代アートかも？ゲイジツツのミカタ展を3月13日～3月22日まで行い、様々な文化や作品を紹介した。 ・ギャラリー一用消耗品費等(59千円) <p>○25年度実施内容</p> <p>愛知県美術館による移動美術館の招聘や史跡公園において大学との連携によりアートを用いて小牧山城築城450年をアピールする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術鑑賞講座講師謝礼(85千円) ・ギャラリーアテンド謝礼(345千円) ・ギャラリー一用消耗品費等(60千円) ・美術展開催委託料(3,195千円) ・美術鑑賞共催事業委託料(1,000千円) ・市民ギャラリー企画展開催委託料(1,000千円) ・小牧山アート事業委託料(2,000千円) ・市民ギャラリー一用備品購入費(300千円) 									
	受益者負担	有 美術鑑賞講座 1,000円×31人=31,000円 500円×1人=500円									

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円		4,534	5,008	7,985	
		正職員	従事者数	人		0.10	0.10	0.10
			人件費	千円	0	533	533	533
		その他職員	従事者数	人		1.00	1.00	1.00
			人件費	千円		2,242	2,508	2,547
		費用合計	千円	0	7,309	8,049	11,065	
	対前年比	%			#DIV/0!	110.1	137.4	
財源	一般財源	千円	0	7,274	8,018	11,025		
	国・県支出金	千円		0	0	0		
	その他財源	千円		35	31	40		

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	美術展出品作品数	点	目標		370	370	370
実績				356	356	354	
共催事業展覧会	回	目標		1	2	2	3
		実績		1	2	2	
績	成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25
			美術展入場者数	人	目標	4,200	4,200
				実績	4,004	4,457	5,223
招待券等入場者数	人	目標		3,000	3,000	2,000	2,000
		実績		1,194	1,515	1,501	

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	市民美術展の出品作品数は、目標達成に至らなかったものの、ギャラリートークを充実させたため入場者数は目標達成につながった。メナード美術館の入場者数は、目標達成に至らなかったが、メナード美術館と共催することにより市単独では実施できない名画等を気軽に鑑賞できたため有効であった。	
		事業実施における課題	市民美術展は美術協会、書道連盟、写真連盟と連携して実施しているが、会員が固定化しており高齢化も懸念される。若い世代に関心が高まるような美術文化事業の展開が必要である。	
		事業を縮小・廃止したときの影響	気軽に誰もが市民美術展に参加できる機会と、市民の美術に対する魅力を存分にアピールできる場が失われ、芸術への関心が低下する恐れがある。また、民間であるメナード美術館に気軽に足を運んでもらい、本物の名画に触れる機会を提供することができなくなる。	
	改善内容	平成25年度の内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	
		小牧山城築城450年に因んで史跡公園において、大学との連携により石彫や彫刻など子どもたちも触って遊べる作品の展示を行ってアピールし、市民が誇りに思える観光と文化のまちづくりを推進する。		
平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)	
	判定理由	昭和33年から実施している市民美術展は、美術愛好者の底辺の拡大と質の向上を図るうえで有効であるが、マンネリ化しない工夫が必要である。また、若い世代に関心が高まるような情報の発信が必要である。		
	26年度以降の改善案	市民美術展のギャラリートークは好評であるためさらに充実させ、出品者だけでなく来場者にもわかりやすく魅力を発信していき、美術文化の底辺拡大に努める。メナード美術館という地域資源を有効に活用し、市民の誰もが参加しやすい環境づくりを積極的に推進し、美術文化の裾野を広げる工夫をする。 市内全中学校を対象にレプリカ絵画を活用した巡回ミュージアムは、レプリカ絵画の老朽化に伴い、学校のニーズを調査して実施する学校を決定したり絵画を選択性にするなど方法を検討していく。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。ただし、レプリカ絵画を活用した巡回ミュージアムについては、レプリカ絵画の劣化に伴い廃止を含めた検討を行うこと。